

MATSUE CITY COUNCIL
NEWS LETTER

市議会 だ よ り



玉造温泉入口モニュメント



温泉街の中程にある玉造アートボックス



玉作湯神社



大勢の観光客でにぎわう足湯



玉造温泉

奈良時代に開湯されたといわれる古湯で、すくなひこなのみこと少彦名命が発見したと伝えられている。『出雲国風土記』抄にも記載されている。また江戸時代には松江藩主の静養の地となっており、湯之介ゆのすけと呼ばれる温泉を管理する役職も設けられていた。

6月定例会

平成25年6月19日～7月5日

緊急経済対策、ものづくり産業支援 観光交流事業予算案等を可決、承認

6月定例会では、平成25年度一般会計補正予算等予算案件3件、条例案件等16件、承認案件15件を提案どおり可決、承認しました。

補正予算額は一般会計6億3,880万2千円、特別会計590万7千円、公営企業会計9,531万4千円でした。補正予算は、緊急経済対策やものづくり産業支援、観光交流事業等が含まれています。補正後の一般会計総額は974億6,980万2千円となっています。

市長の所信表明では、課題として『原発の再稼働判断』『交付税の合併算定替えの廃止に伴う交付額の大幅減額』『高速道路の開通と広域連携』と、7つの挑戦として ①ものづくり産業政策 ②観光交流人口の拡大で250万人の宿泊客 ③6次産業化の推進による農林水産業の再生 ④女性、若者、高齢者の活躍の場の創出と未来に向けた人づくり ⑤子育て環境と健康寿命日本一を目指す ⑥宍道湖・中

海の水環境改善による日本一の水の都づくり ⑦安全・安心なまちづくりの強化 を掲げ、補正予算にも盛り込みました。

これらに対し、一般質問では、新人5人を含む17人が、市長の所信表明をはじめ、市政全般にわたり質問戦を繰り広げ、充実した議会となりました。

補正額の主なもの

観光交流人口拡大で年間250万人の宿泊客を目指すプロモーション事業（観光誘致宣伝事業・観光客受入事業）	2,269万5千円
保育士等処遇改善事業支援	1億478万1千円
道路新設改良事業	1億円
急速充電器整備促進事業	3,700万円
農道・林道・漁港整備事業	8,750万円

条例案の主なもの

松江市環境創造・子ども未来基金条例の制定（エコクリーン松江に導入したバイオマス発電の売電増収の一部を原資とし基金を設置）



三島 良信 議長



篠原 栄 副議長

件 名		結果
委員会提出 議案第1号	過労死防止基本法の制定を求める意見書について	原案可決
議員提出 議案第8号	ホテル・旅館等建築物の耐震化の促進に関する意見書について	原案可決
議員提出 議案第9号	TPP交渉参加撤回を求める意見書について	否決

請願・陳情の審議結果

件 名	提 出 者	審議結果
請願第1号 過労死防止基本法制定に関する意見書の提出を求めることについて	過労死防止基本法制定実行委員会 関西事務所 岩城 稔	採択
陳情第1号 日本軍「慰安婦」問題への誠実な対応を求める意見書の提出を求めることについて	新日本婦人の会島根県本部 会長 山崎泰子	閉会中の 継続審査

市政のここが聞きたい 17人の議員が質問

6月定例会 一般質問

6月定例会では、6月24日から6月26日までの3日間にわたり一般質問を行いました。

質問をした議員本人が通告した項目の中から一つ選び、要旨をまとめたものを掲載しています。



はやし かん じょう
林 干城 (松政クラブ)

- ・開府元年まちづくり構想
- ・都市計画法線引きの見直し
- ・人・農地プランについての取り組み
- ・女性が働きやすい子育て環境日本一
- ・穴道湖・中海の水質浄化策
- ・公共施設の維持、管理
- ・選挙事務の改善
- ・障がい者問題

質問 都市計画税が線引き見直しを妨げている

下水道や道路整備のための財源として都市計画税がある。松江市は下水道等の整備は大体終わっている。この税をいつまで続けるのか。この税収が関わるため、線引き問題を始め松江市全体の土地利用計画の見直しが遅れている。社会資本整備の負担は中心部だけでなく、市民が相応に負担すべきと思うが。

回答 代替財源の確保を市民と共に考える

都市計画税があるため、線引きの見直しが遅れているという側面もあるか、と思う。昔は固定資産税の税率を今より少し高くしていたが、この税が創設され今の税体系となっている。11億円がなくなれば市民サービスにしわ寄せがくる。代替財源をどう確保するかが問題だ。議会はもとより広く市民の皆さんとこの問題を考えていきたい。



もりわき ゆきよし
森脇 幸好 (松政クラブ)

- ・新教育長、病院長、ガス局長、交通局長の抱負と教育方針及び運営方針
- ・原発立地市としての稼働の考え方と今後のエネルギー政策
- ・地方交付税交付金の今後の見込み
- ・緊急経済対策予算の執行状況
- ・観光政策
- ・松江総合運動公園の整備
- ・森林整備の推進と木材の利用拡大

質問 合併算定替え終了による交付税の減額と影響は

合併算定替え終了により交付税の減額が見込まれるが、どの程度の減額と影響が見込まれるか。また、統合等による不要な公共施設の整理を計画的に行うための予算の見通しはどうか。

回答 平成27年度から5年間で約50億円の減少となる

27年度から31年度までで約50億円の減額。そして東出雲町との合併による激変緩和措置が終わる34年度には55億円の減額となる。公共施設関係の予算については適正化計画を策定し優先順位を明確にして予算措置を行う。



なん ば いわお
南波 巖 (真政クラブ)

- ・原発の再稼働の判断に関して
- ・地方交付税の減少への対応について
- ・高速道路尾道松江線の開通と中海・穴道湖・大山圏域の広域連携について
- ・山陰新幹線の整備について
- ・日本の将来を担う子どもについて
- ・安心して暮らせる医療の確保について
- ・バス交通を中心とした公共交通について
- ・松江北道路に関して

質問 松江北道路の計画検討の進め方は十分な意見交換をするべき

松江だんだん道路と尾道松江線は市内橋北部と直結するものであり、観光、産業など経済活動に大きな効果を与えている。松江北道路は早期整備が望まれる。一方、松江北道路は市街地の大規模な事業で、周辺の土地利用等にも大きな影響を及ぼすことから、計画検討においては、住民と十分な意見交換をしながら進めてほしいが如何か。

回答 市に検討組織を作り県計画に反映する

意見交換を深めた上で、早期にルート決定と早期事業着手を県に要望する松江市も、市の中に検討組織を立ち上げ、県の事業計画に反映していきたい。



かわい ひろみつ
川井 弘光 (市民クラブ)

- ・地域エネルギー戦略と再生可能エネルギー
- ・都市計画と土地利用計画
- ・地方交付税削減問題

質問 都市計画改定にむけた見解・手法は

計画見直しにあたっての見解、手順、委員会設置など検討手法、市民意見の集約方法を問う。


回答 2年かけ市民意見も集約して進める

今年度から2年かけて計画の改定を進め、産業振興、ものづくりの観点、安心安全なまちづくりの方向性などを示していきたい。線引きの有無にかかわらず土地利用規制は必要。市域全体のランドデザインを描く中で、線引きの是非を検討する。

手順としては、ランドデザインは今年度中に、各地区のマスタープランは来年度に作成する。

検討に際しては、専門委員会を設置する。

市民意見の集約は、講演会、シンポジウム、市民説明会、ワークショップを開催する。また、大規模なアンケート調査、ヒアリング、パブリックコメントの募集も行いたい。



たなか あきこ

田中 明子

(公明クラブ)

会派代表質問


- ・ 松江市の経済状況
- ・ 市長所信表明から
- ・ **公共工事における労務単価の引き上げ**
- ・ 選挙管理委員会への質問

質問 公共工事における労働者へ適切な賃金の支払いを

今年度、公共工事の積算に用いる公共工事設計労務単価が全国平均で約15%引き上げられた。本市では、このことが周知徹底されているか。本市が発注する工事の労務単価は適切か。また前年の単価で契約済みの案件について、さかのぼって新単価を適用する対策をお考えか伺う。

回答 労務単価の引き上げを周知徹底する

引き上げの周知徹底は、5月の建設業界の講習会の際に行った。引き上げ率は、地域の実情に即し4月に決定し全国平均は15.1%、県は11.9%である。松江市はこれを採用しており適切である。さかのぼっての対応措置については、平成25年4月1日以降の契約分が対象となり38件ある。



かたよせ なおゆき

片寄 直行

(共産党議員団)

会派代表質問


- ・ 市長の政治姿勢
- ・ **原発問題と地域防災計画**
- ・ 「差し押さえ」の鳥取地裁判決と課税問題

質問 世界最高水準の安全基準は二枚舌では

政府が、国内では絶対安全はないとしながら、海外では、原発事故を経験した日本こそ世界一安全な原発を提供できるなどと二枚舌を使って原発輸出セールスに奔走していることは恥すべきこと。規制基準は、福島事故の検証を踏まえたものではない。福島原発事故の原因究明なしに安全な規制基準をつくることはできないと思うがどうか。

回答 原因究明なしに安全基準はできない

そのとおりだと思う。新基準は、福島原発事故の原因を踏まえたものでなければならない。規制庁からいまだ認識できる説明はない。世界最高水準の安全基準になっているかどうか、規制庁、規制委員会の説明を求めたい。



にい い まさただ

新井 昌禎

(友愛クラブ)

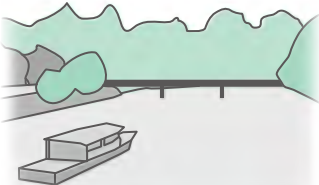
- ・ 7つの挑戦について
- ・ 年間250万人の宿泊客を目指すについて
- ・ 宍道湖・中海などの水環境改善について

質問 堀川の水質改善への取り組みについて

堀川遊覧船は、大変多くの観光客に楽しんでもらいたい観光イベントの一つであるが、水の色や質について心配している。実効性のある対応を早急をお願いしたい。

回答 今年度、4つの実証実験を行う

堀川の水浄化対策として、4つの実証実験を行いたい。1つ目はハイビーズの敷設、2つ目はアクアリフトの散布、3つ目はヤクルト容器の設置、4つ目はシジミの生息実験、この4つの実証実験を行っていきたい。





のつ てるお

野津 照雄

(松政クラブ)

- ・ 大橋川改修事業について 内水・雨水対策含む
- ・ 宍道湖・中海の水産振興策と水環境について
- ・ **木質バイオマス発電について**
- ・ 職員削減と庁舎のあり方について

質問 木質バイオマス発電所が計画されているが、懸案事項、支援策は如何か

大井町（松江東工業団地内）で計画されている木質バイオマス発電所が計画されているが、計画進入道路の問題、その他懸案事項、及び本市としての支援策はどうか？

回答 懸案事項、支援策について、関連部署で構成するプロジェクト会議で検討したい

バイオマス発電の進出に当たって、チップ運搬の為の大型車両の往来が予想されるが、事業者と詳細に協議したうえで、懸案事業について、庁内の関係部署で構成するプロジェクト会議の中で検討したい。





の の うち まこと
野々内 誠 (松政クラブ)

- ・松浦市政における今後4年間の行政姿勢について
- ・新教育長に問う
- ・子育て支援について
- ・情報化の促進について
- ・高齢者福祉について

質問 人口減少時代における中心市街地と周辺地域のまちづくりについて

人口減少時代においては、一定の行政サービスを確保しつつ集約化を図る事態に直面していく。松浦市政における4年間の松江市の中心市街地の人口増への取り組みと、周辺地域での市民生活の確保とまちづくりを問う。

回答 拠点連携型の都市構造に持っていきたい
中心部はまちなか居住を進め、周辺部もその拠点を形成していく

課題は認識しており、結論は拠点連携型の都市構造に持っていきたい。中心部は、買い物、観光など都市機能の充実を進めてまちなか居住の魅力化を高め社会増を図っていく。周辺地域は自然や産品、観光地も豊かで、可能性を秘めている。地域資源を有効活用することで拠点性を作りあげたい。



き た に ま い
貴谷 麻以 (真政クラブ)

- ・女性が働きやすく暮らしやすい施策の基本的考え方
- ・教育施策
- ・救急医療
- ・防災によるまちづくり
- ・3号機稼働とその安全性について、また使用済燃料について
- ・新エネルギーと新産業政策ビジョンについて（農業の6次産業化を含む）

質問 島根原発3号機を稼働するべきではないと思うがいかがか

原発3号機を稼働させれば、日本で一番遅くまで原発を抱える自治体になる。そんな負担を次世代に課すのは親として堪え難い。私が尋ねた200人以上の女性も3号機稼働に反対であった。核燃料サイクルは破綻、六ヶ所村の貯蔵量もほぼ満杯。危険な使用済み核燃料（毎時何万トンの水を使って冷やし続けないと24時間で高熱を発生爆発することが福島原発の事故で証明された）を県内に残さないことがその発電所建設の要件だ。この状況で3号機を稼働させるのか。

回答 新規制基準をクリアすることが大前提

エネルギー基本計画を作って頂き、新しい規制基準をクリアすることが前提である。核燃料サイクルについて政府に要請していく。



は せ が わ し ゅ う じ
長谷川修二 (公明クラブ)

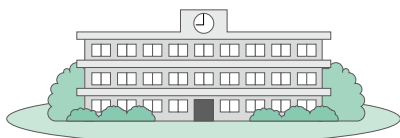
- ・通学路の安全について
- ・デマンド型コミュニティバスについて
- ・地域消防団について
- ・特別支援学級について
- ・校庭の芝生化について

質問 特別支援学級について

市内の小・中学校の特別支援学級の教育環境の改善のために、早急なる非常勤講師の配置や介助員の増員をお願いしたい。

回答 必要に応じて介助員を配置するように努める
非常勤講師は県教委へ強く要望する

指導介助のための介助員を市単独で継続して配置してきたが、今後も現場の状況を十分に把握して、必要に応じて介助員を配置するように努める。非常勤講師の配置は引き続き県教委へ強く要望していきたい。



は た お こう せい
畑尾 幸生 (市民クラブ)

- ・救急医療体制について

質問 休日・夜間の診療機関の検討状況は

今年2月議会でも取り上げたが、日赤救急医が6月から不在となり、救急医療体制の整備は早急に取り組むとの答弁であった。しかし、検討はその端緒についたばかりと聞く。速やかな対応を市民はのぞんでいる。検討の現状、今後の対応を聞く。

回答 医師会・県等と場所・診療科目について
現在詰めている

設置を検討している一次救急診療所は、市立病院及び日赤で救急外来を受診した全体のニーズ（平成23年度で4万2,100人）そのうち小児科1万1,814人、成人が1万8,836人、高齢者が1万1,450人）であることから、内科のみならず、小児科も必要という意見も含めて検討をしている。場所については、2次救急病院の受診が必要な場合もあり市立病院周辺を想定している。また、かかりつけ医を各家庭が持つことも必要であり、今後はこの面の啓発・普及を図りたい。



よしぎ けいこ
吉儀 敬子 (共産党議員団)

- ・ 中学3年生までの医療費無料化
- ・ 救急医療体制
- ・ 原発に代わる自然エネルギー推進

質問 中学3年生までの医療費無料化を

就学援助の認定率や世帯収入の推移をみると、子どもの貧困が深刻である。子どもの医療費無料化自治体に対する国の交付金減らしは強く抗議すべき。市長は「子育て環境日本一」を再び掲げられた。次は中学3年生までの医療費無料化を実施すべき。県都の松江市が、牽引車の役割を果たすべき。

回答 1億2,000万円の財源が必要

子どもの医療費無料化を実施する自治体に国庫負担金をカットすることは、容認できない。市長会を通して国に強く抗議している。中学3年生まで無料にするには、1億2,000万円必要。財政支援を、県や国に要望しており、その対応を見ながら検討したい。



たくの けんじ
宅野 賢治 (友愛クラブ)

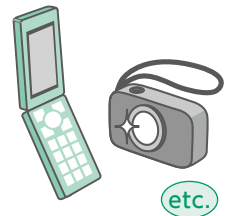
- ・ 市長所信表明及びマニフェスト松江づくり七策に関連して
- ・ リサイクル都市松江

質問 使用済み小型家電リサイクル法への対応について

使用済み小型家電リサイクルの回収を今後どのように松江市は取り組んでいくのか。

回答 調整課題が数多く存在しているが実施に向けて調査検討していきたい

費用対効果の観点から何品目を取り組むのか、どのように収集分別を行なうのか、個人情報保護の観点からどのような方法で回収するかなど調整すべき課題が数多く存在しているが、法律の趣旨に沿って回収を実施する必要があると考えており調査検討していきたい。



あしはら やすえ
芦原 康江 (無党派)

- ・ 島根原発問題について
- ・ 教職員の懲戒処分のあり方について
- ・ 体罰に関する事情聴取のあり方
- ・ 技能労働者への適切な賃金水準の確保
- ・ 放課後児童クラブ職員の処遇改善

質問 フィルタ付きベント工事は事前了解を

中国電力は2号機、3号機について「フィルタ付きベント設備」の工事に着手しているが、安全協定第6条の「原子炉施設に重要な変更を行おうとする時は、事前に了解を得るものとする」という規定に該当する。中国電力に対して、事前了解の申し入れを行うよう求めるべきではないか。

回答 規制委員会へ申請時に事前了解が必要

安全協定の「重要な変更を行おうとする時」とは運営要綱第4条において「原子炉等規制法に基づき原子炉設置変更許可を受けようとする場合」とある。新規規制基準の施行により、シビアアクシデント対策も法的規制対象になるので、自主的に実施してきた安全対策についても原子力規制委員会の審査を受ける必要が生じる。事前了解は、その申請を行おうとする場合に適用されると考えている。



もりもと ひでとし
森本 秀歳 (市民クラブ)

- ・ 市長・市議会選挙の投票状況
- ・ 小中一貫教育と公民館のあり方

質問 政治に関心を持つための教育の必要性

バスの巡回や大型店舗での期日前投票所設置など投票率向上に努力はされており、これも必要なことであるが、根本的な課題として、行かない人に行ってもらえることが重要である。今の実状から政治や行政に関心を持ってもらうことが必要。学校の教科の中で学ぶ機会はあるが、実生活の中で感じ取る、活かすためにも、社会参加や政治参加の意識を高めていくための教育が必要と考えるがいかがか。

回答 子どもたちに教えていきたい

若年層の投票率を向上させるために啓発活動に努めてきた。今後も工夫を重ね、投票率向上を図っていきたい。投票行動は国民の義務であり、基本的には子どもの頃から教えていくことは大切なことと思う。機会あるごとに、学校等で教えていきたい。



たかはし よしあき
橋 祥朗 (共産党議員団)

- ・ 合併地域住民の声に対する市長の理解を問う
- ・ 中海再生について
- ・ 公営住宅問題について
- ・ **玉井斎場受付問題**

質問 玉井斎場受付24時間体制を

美保関町にある、境港市と松江市の共同管理の玉井斎場は、境港市では24時間受付しているが、関連する美保関町、島根町、八束町では午後5時を過ぎれば翌日の受付となる。同様な扱いができるよう、境港市との協議を求めたが、どうか。

回答 24時間受付、来年度から松江全域で

境港市との協議で、境港市役所ですべての手続きを行うことができるようになった。(8月をめどに)

本庁では24時間体制をとっていないが、来年4月までには、本庁・支所で24時間すべての手続きが完了するよう準備する。三刀屋斎場を利用してある宍道町も同様に扱う。



平成25年9月定例会日程

月	日	曜日	会 議 名
9	4	水	本会議 (会期の決定・委員長報告・討論・採決・提案説明)
	9	月	本会議 (一般質問)
	10	火	本会議 (一般質問)
	11	水	本会議 (一般質問・議案質疑・委員会付託)
	12	木	総務委員会 教育民生委員会 建設環境委員会現地視察
	13	金	経済委員会 建設環境委員会
19	木	本会議 (委員長報告・討論・採決・提案説明・決算特別委員会設置・委員会付託) 閉 会	

平成25年決算特別委員会日程

月	日	曜日	会 議 名
9	19	木	決算特別委員会 (正副委員長互選)
10	1	火	決算特別委員会 (総括質疑、一般会計・特別会計・企業会計ごとに質疑、分科会設置・委託) 総務分科会 教育民生分科会
	2	水	総務分科会 教育民生分科会
	3	木	経済分科会 建設環境分科会
	4	金	経済分科会 建設環境分科会
	8	火	決算特別委員会 (分科会長報告・採決)

傍聴することができます。ぜひお出かけください。

松江市議会会派構成と所属委員会

(平成25年5月16日現在)

《松政クラブ》

- | | |
|----------------|----------------|
| 柳 原 治 (総Ⓐ) | 野々内 誠 (教ⒶⒺ) |
| 野 津 直 嗣 (総ⓂⒺ) | 野 津 照 雄 (総Ⓐ) |
| 吉 金 隆 (教ⓂⒶⒺ) | 森 脇 幸 好 (総ⓂⓂⓂ) |
| 松 蔭 嘉 夫 (建ⓂⓂⓂ) | 森 脇 勇 人 (教Ⓐ) |
| 林 干 城 (建ⓂⓂⓂ) | 三 島 良 信 (交) |
| 山 本 勝 太 郎 (総Ⓜ) | 三 島 進 (建Ⓐ) |
| 立 脇 通 也 (総Ⓜ) | 比 良 幸 男 (総Ⓜ) |

《市民クラブ》

- | | |
|----------------|--------------|
| 森 本 秀 歳 (総ⒶⒺ) | 畑 尾 幸 生 (建Ⓜ) |
| 津 森 良 治 (教ⓂⓂⓂ) | 川 井 弘 光 (総Ⓐ) |

《日本共産党松江市議会議員団》

- | | |
|----------------|------------|
| 吉 儀 敬 子 (教ⓂⒺ) | 橋 祥 朗 (建Ⓐ) |
| 片 寄 直 行 (総ⓂⓂⓂ) | |

《友愛クラブ》

- | | |
|----------------|--------------|
| 新 井 昌 禎 (教ⓂⓂⓂ) | 宅 野 賢 治 (建Ⓐ) |
|----------------|--------------|

《会派に所属しない議員》

- | | |
|--------------|--------------|
| 岩 本 雅 之 (総Ⓐ) | 芦 原 康 江 (総Ⓐ) |
|--------------|--------------|

《真政クラブ》

- | | |
|---------------|--------------|
| 貴 谷 麻 以 (教Ⓜ) | 川 島 光 雅 (建Ⓜ) |
| 石 倉 徳 章 (総ⒶⒺ) | 南 波 巖 (総ⓂⓂⓂ) |
| 石 倉 茂 美 (総Ⓜ) | |

《公明クラブ》

- | | |
|---------------|--------------|
| 長谷川 修 二 (総ⒶⒺ) | 田 中 明 子 (総Ⓐ) |
| 桂 善 夫 (建ⓂⓂⓂ) | 篠 原 栄 (教Ⓜ) |

氏名の横の文字は下記の委員会を表しています。

- | | |
|-----------|--------------------|
| ● 常任委員会 | ● 特別委員会 |
| Ⓜ=総務委員会 | Ⓐ=宍道湖・中海問題等対策特別委員会 |
| Ⓐ=教育民生委員会 | Ⓜ=島根原子力発電対策特別委員会 |
| Ⓜ=経済委員会 | Ⓐ=総合交通対策特別委員会 |
| Ⓜ=建設環境委員会 | Ⓐ=まちづくり対策特別委員会 |
| Ⓜ=議会運営委員会 | Ⓐ=議会広報等特別委員会 |

*会議録は松江市議会ホームページ (<http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/eturan/gikai-12.html>) でご覧いただくことができます。

まつえ市議会だより 2013.6月定例会

松江市議会では、4常任委員会と5特別委員会が設置されています。他に議会運営委員会があります。主な所管の内容等は次のとおりです。

委員会名		主な所管の内容
常任委員会	総務	・地域振興 ・定住自立圏構想 ・情報化の推進及び情報処理業務 ・重要施策の総合企画 ・行政組織 ・人権施策 ・防災対策、危機管理及び交通安全 ・予算その他財務 ・市有財産の総括管理 ・入札の総括管理 ・税の賦課及び徴収 ・市民活動 ・戸籍及び住民基本台帳 ・国民健康保険及び国民年金 ・男女共同参画 ・消防
	教育民生	・児童及び母子、父子福祉 ・就学前児童の保育及び教育 ・高齢者福祉 ・介護保険 ・身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者福祉 ・生活保護 ・保健衛生 ・医療体制整備 ・学校教育 ・学校施設 ・発達相談支援 ・学校給食 ・生涯学習及び社会教育 ・青少年育成 ・文化行政 ・スポーツの振興 ・松江市病院事業
	経済	・商工業の振興、企業立地、定住雇用推進 ・農林畜水産業の振興 ・特産振興 ・農業基盤整備 ・観光振興 ・文化、芸術の振興 ・国際化の推進 ・松江市ガス事業 ・松江市自動車運送事業及び駐車場事業
	建設環境	・環境保全 ・環境衛生 ・公害 ・清掃事業 ・都市計画、景観 ・市街地整備 ・建築指導 ・公園及び緑地保全 ・道路、橋りょう、河川の整備及び管理 ・建築及び住宅 ・上水道事業 ・下水道事業

議会運営委員会 議会運営、議会会議規則、委員会条例、議長の諮問に関する事項の他本会議日程等の協議

委員会名		調査事項
特別委員会	宍道湖・中海問題等対策	斐伊川水系の治水対策及び水質並びにそれに伴うまちづくりに関する調査
	島根原子力発電対策	中国電力島根原子力発電所等に関する調査
	総合交通対策	一畑電車問題、市内のバス交通網及び新型路面電車等に関する調査
	まちづくり対策	地域の特徴を生かした総合的なまちづくりの推進を図るための諸課題に関する調査
	議会広報等	議会広報の編集及び発行並びに議会図書室のあり方に関する調査

編 集 後 記

今年、風土記編集の命令が朝廷から全国に発せられてから千三百年。出雲風土記は七百三十三年に完成し、ほぼ完本として唯一残っています。

風土記には、地域の様子や歴史、産物など様々な記述があります。そして今、「平成の松江風土記」として、豊かな歴史や文化に彩られた松江市内の豊かな表情を、この紙面の表紙に二年にわたってお伝えします。

この四月の改選によって、新しい議会広報等特別委員会のメンバーで、親しまれる議会広報になるよう努力してまいります。

議会広報等特別委員会
委員長 野々内 誠

新しい委員で編集します

新しい議会広報等特別委員会の委員で「まつえ市議会だより」を編集しおとどけます。



〒690-8540 松江市末次町86
議会広報等特別委員会(松江市議会事務局)
電話 (0852)55-5433
ファックス (0852)55-5533
議会事務局メールアドレス giji@city.matsue.lg.jp

皆様のご意見をお寄せください

ホームページアドレス
<http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/top.html>

